

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 宇賀の浦中 学校

学級数

6

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

「意欲的に学習に取り組む生徒」「豊かな心で高め合う生徒」の育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

1 取組のきっかけ

昨年度「学校生活アンケート（全学年）」「食習慣アンケート（全学年）」「全国学力学習状況調査」や「自己評価」「保護者アンケート」を実施し、話題として家庭学習の習慣化や挨拶をはじめとする認め合う人間関係等に本校の課題があると認識された。そこで今年度校長の経営方針に上記の重点教育目標を設定するに至った。そこで「こどもにとって最大の教育環境は教師である」という姿勢で、校内研修や各種研修を通じて指導力向上を实践し、こどもの豊かな成長を図る指導と教育活動の推進により課題改善を目指すこととなった。

2 取組の位置付け

教務の研修担当を中心に校内研究に充実に努めている。

3 取組の方法

研究主題を「意欲的に学習に取り組む生徒の育成～学ぶ楽しさを共有できる授業づくり～」とし、学習形態を工夫した「学び合い」を取り入れた授業実践に取り組んでいる。平行して家庭学習の習慣化を図るため生活・学習記録カードの実施や宿題の定期的実施なども各教科の特性にあわせて実施している。月に一度の研修会で研究内容の交流や具体的取組内容の確認、また実施している記録カードの内容分析等を交流し家庭学習定着への活用を図っている。

また小規模校ゆえに教科部会等に替わり、3ブロック体制を組み授業交流の実施や研究協議などでも論議が深まり、よりきめの細かい機動性に富む研究体制を組み、研究主題の具現化に一役買っている。

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

- ・「生活・学習カード」の全校一斉に実施
(成果) → 担任による家庭学習の状況認識や、生徒や保護者が家庭学習実施について意識するきっかけ作りなどに一定の効果が見られた。
- ・教科ごとの宿題に関する取組
(成果) → 家庭学習で取り組むために各教科による宿題を継続的に実施してもらい一定の成果が得られた。
- ・全校生徒による授業評価（学習アンケート）を実施
(成果) → 生徒の側から授業理解についてやTTや習熟度別による指導内容が、全クラスでおおむね満足を得ていることなどが確認された。また「生活・学習カード」の成果か、家庭学習時間等も各学年で増加傾向を示すなど、取組の具体的成果が確認された。
- ・「学び合い」を取り入れた授業実践の交流
(成果) → グルーピングの工夫（4人班）や学びの質を意識した、授業交流が行われ、教科の枠を越えた研修が深められた。

○ 教育課程検証の方法

- ・生徒による学習アンケートを前期（9月）と後期（1月）との結果を比較・検討を通して、取組の検証を図る予定である。
- ・学校評価の項目を保護者・教員・生徒でおおよそ同じ項目として教育課程の検証を図り、集計の際にはわかりやすくグラフとして表す予定である